

年間授業計画

高等学校令和6年度（3・4学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3・4 学年

教科担当者： 新船 孝

使用教科書： （ 光村図書出版 書 I ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	表現			鑑賞	評価規準	該当に○			配当 時数
		漢 仮	漢	仮			知	思	態	
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 書へのいざない 書写から書道へ 書体の変遷を知る 臨書とは何か 用具、用材の特徴と表現効果 	(1)書とどのような芸術かを考える ・漢字の書体と変遷を知る ・各書体について、字形や特徴を理解する (2)用具・用材 ・碑と拓本 ・臨書から創作へ	○		○	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わりを理解している。書体・書風を理解している 【思】書の良さ・美しさを味わって捉えている 【主】書の良さや美しさを感じ、主体的に取り組んでいる	○	○	○	6
	<ul style="list-style-type: none"> 古典に基づく学習 さまざまな楷書古典を知る 楷書の特徴を理解し、書風の相違を感得する 	(1)隋と唐の文化について知る ・楷書の特徴を理解し、楷書古典の書風の相違を理解する (2)孔子廟堂碑・九成宮醴泉銘など	○		○	【知】楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解している。 【思】楷書の古典の価値や良さ、美しさを捉えている。 【主】主体的に幅広い、表現の学習活動に取り組んでいる	○	○	○	8
	<ul style="list-style-type: none"> 古典に基づく学習 さまざまな楷書古典を知る 楷書の特徴を理解し、書風の相違を感得する 	(1)楷書の特徴を理解し、楷書古典の書風の相違を理解する (2)雁塔聖教序・顔氏家廟碑など	○		○	【知】楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解している。 【思】楷書の古典の価値や良さ、美しさを捉えている。 【主】主体的に幅広い、表現の学習活動に取り組んでいる	○	○	○	8
	<ul style="list-style-type: none"> 行書 行書の特徴を理解する さまざまな行書の古典を知る 王羲之の書道史上の重要性を理解する 顔真卿の思いと表現を理解する 日本の書の芽生えを知る 	(1)行書の表現の多様性にふれ、行書の特徴を理解し、行書古典の書風の相違を理解する (2)集王聖教序・争座位文稿・蘭亭序・風信帖など	○		○	【知】行書の古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。 【思】行書の古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを捉えている。 【主】行書の臨書を通してその書美を学んでいる。	○	○	○	6
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 草書 臨書を通して草書の筆使いを理解する 隸書 隸書の生まれた過程や背景を知り、特徴を理解する 	(1)真草千字本や曹全碑の鑑賞と臨書を通して、その書美を学ぶ ・基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける (2)真草千字文・曹全碑など	○		○	【知】草書が成立した過程や特徴を理解している 隸書の直線化、波勢を理解している 【思】草書の特徴の点画の連続や省略を捉えている 【主】漢字の書の幅広い表現に主体的に取り組んでいる	○	○	○	8
	<ul style="list-style-type: none"> 篆書 小篆の筆使いの特徴を理解する 伝統と文化についても理解する 篆刻 篆刻について理解し、篆刻の仕方について学習する 	(1)篆書の美や良さを感じ取り、篆書の技法を学び取る ・篆刻の表し方や美しさを理解する (2)泰山刻石	○		○	【知】篆書が成立した過程や特徴について理解している 印の使い方や種類を理解している 【思】縦長・左右対称・水平・垂直を捉えている 【主】幅広い表現と鑑賞に主体的に取り組んでいる	○	○	○	8
	<ul style="list-style-type: none"> 篆刻 篆書の特徴を生かして、草稿・印稿・運刀などができる 篆刻の準備と手順について理解し、姓名印を刻る 	(1)文字や印材との余白との関係を理解し、全体の構成を考える (2)印の歴史・DVDの活用	○		○	【知】篆刻の意義や選文から補刀までの制作手順を理解している 【思】篆刻の歴史を知り、自分の印に工夫を加えている 【主】主体的に姓名印を刻し、作品に押印している	○	○	○	8
	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の書を学ぶ 仮名の基本用筆を理解する 仮名の成立と種類を理解する 連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付ける 散らし書きを理解する 	(1)日本の名筆を日本の伝統的な書的美を感じる ・仮名の基本的な線・運筆を理解し練習する ・用具・用材を理解する (2)蓬萊切・高野切古今和歌書（第三種）など			○	【知】古筆を知り、仮名の成立について理解している 【思】名筆を生かした表現、幅広い表現について工夫している 【主】主体的に仮名の書の幅広い学習活動に取り組んでいる	○	○	○	6
<ul style="list-style-type: none"> 仮名の書の作品制作 臨書から創作へ 	(1)作品制作の手順を知り、表現を楽しむ ・仮名の書で学んだ古典の特徴や技法				【知】仮名の書の線質・字形・構成等の表現効果を理解している 【思】意図に基づいた表現について					

